

TOPPAN デジタル株式会社 ICT KŌBŌ ARIAKE

1900年に創業した凸版印刷株式会社は、今まで以上にグループのシナジーを発揮し経営基盤を強化すべく2023年10月にホールディングス化しました。

我々TOPPAN デジタル株式会社はホールディングス内のデジタルソリューション専門集団として社会課題の解決に取り組んでいます。

事業内容

2022年9月開設の『ICT KŌBŌ ARIAKE』はTOPPAN デジタルが展開するサテライトオフィスの1つです。

IoTを使った地域課題ソリューション開発やデジタル人材の確保・育成、ニアショア開発に取り組んでいます。

ノウハウ・技術

【IoT】

センサーとLPWAを活用して「河川・ため池の水位監視」や「積雪監視」などの地域監視ソリューションを提供しています。

大牟田市でも市との協働で『獣害対策』を実証実験に取り組んでいます。

【AI】

二次産業における製造工程における製品の欠陥・異常を検知する要素技術の研究開発に取り組んでいます。人の目では見落としがちな欠陥やパターンを高精度で検出します。また、屋外での害獣判定などのエッジ AI の実用化にも取り組んでいます。

ソリューション

【PosRe®】

自治体の「環境保全」「設備維持」「災害対策」をDXで一元管理します。また、住民と自治体とのコミュニケーションサービスとしてもご活用いただいています。

また、二次産業での「設備管理」、「安全衛生管理」などにもご活用いただいています。

【RemoPick®】

スマートグラスが捉えた映像を遠隔地のタブレットで視聴し、タブレット側からはスマートグラス側にポイント指示が可能な双方向コミュニケーションサービスです。TOPPAN の持つ色彩テクノロジーを搭載し、農業の技術伝承、工場の設備メンテ、遠隔医療などの領域で活用いただいています。

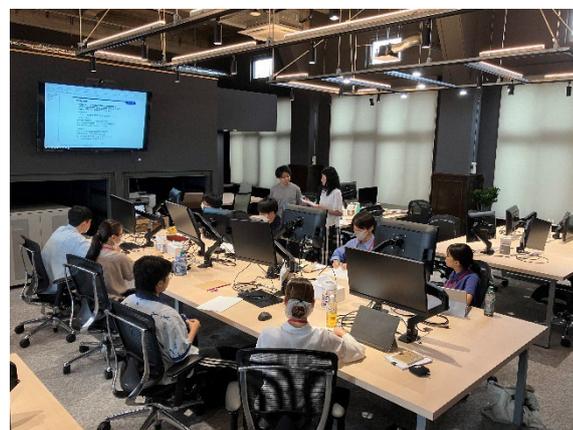
地域のIT教育

【中学生職場体験受け入れ】

中学生を対象に職場体験の受け入れ実施しています。簡単なプログラミングやAIを絡めた好奇心をくすぐる開発体験を通して、将来のエンジニア候補生にIT業界を志すきっかけを提供しています。



本社



ICT KŌBŌ ARIAKE でのインターンシップの様子



遠隔作業支援サービス『RemoPick®』

代表者名	代表取締役社長 坂井 和則
本社所在地	〒112-8531 東京都文京区水道 1-3-3
支店・工場	〒836-0842 福岡県大牟田市有明町 1-1-22 2F
T E L	0944-85-7387

U R L	https://www.digital.toppan.com/ja/
設立	2023年
資本金	500百万円
従業員数	男性7名/女性1名 計8名 ※ICT KŌBŌ ARIAKE の従業員